

第8号様式(第9条関係)

武蔵野市生涯学習事業費補助金事業実績報告書

武蔵野市長 殿

武蔵野市生涯学習事業費補助金の交付決定を受けた事業について、武蔵野市生涯学習事業費補助金交付要綱第9条の規定により、添付書類を添えて、下記のとおり報告します。

記

報告年月日	2026年2月12日
団体名	なないろのおと
代表者の肩書及び氏名	代表 西山 園子
事業名称	-カミングアウトジャーニーとその後の物語- アフタートーク付きダブル上映会
事業目的	当団体「なないろのおと」は、以下の目的を掲げて本活動を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> - マイノリティの視点への理解を深める - 多様性に対する感覚を養う - 人と人との新たな「つながり」を生み出す - 地域活動の活性化に寄与する
事業対象 ※主な対象者、定員等を記入すること。	武蔵野市民を対象に100名
実施日時 ※日時、時期、期間、時間、回数等を記入すること。	2025年12月13日(土)18:30~21:15 (開場18:15~)
実施場所 ※施設、会場、地域等を記入すること。	武蔵野プレイス フォーラム4階
参加者から徴収した費用等 ※金額、単位(人・組・回)等を記入すること。	無料
事業内容 ※テーマ、形態(教室・講座・講演会等)、講師・指導者等がある場合はその氏名、略歴等を含めて具体的に記入すること。	-カミングアウトジャーニーとその後の物語- アフタートーク付きダブル上映会 映画製作者 舞台演出家 俳優 福正大輔さん、ぼんつくさんとのアフタートーク
募集、広報 ※事前申込みの有無、申込方法(ハガキ・電話等)、チラシ・ポスター・ダイレクトメール等の配付枚数及び配付場所、時期等を具体的に記入すること。	事前申し込みあり。チラシに申込フォーム用QRコードを記載。ダイレクトメールを2023年の来場者中心に、数回配信。 X(旧Twitter)やホームページで告知、市報の伝言板、週刊きちょうじに取材していただき掲載。 チラシを1000部印刷して配置、下記の場所に配布依頼しました。 ICU大学6部掲示 武蔵野大学20部 亜細亜大学15部 成蹊大学80部 成城大学100部 東京医科大学病院15部 ICU高校掲示、立川高校5部 武蔵野市役所20部 ふるさと歴史館20部 市民会館20部 武蔵野プレイス50部 クラフトハウスばく1部 鍼灸室らくみ50部 さくらえん5部 ケアハウス1部 桜野小学校1部 境南小学校50部 第二中学校20部 ぐーぐーブックス15部 なないろのおとメンバーによる配布 400部

成果、効果

※参加者、実施団体、市等への効果等を記入すること。

●参加者の特徴

100名の出席者。市内在住が60名、市外から40名。年齢層は10代からシニア世代まで幅広く、特に10代の若い世代が約20名参加。性別・世代を超えた多様な人々が一堂に会しました。

●当日の流れ

映画上映の後、企画・制作を担当された福正さんとぼんつくさんによるアフタートークを実施。両氏の軽快かつ率直なトークにより、会場は終始熱気に包まれ、笑いと共に、深い気づきの瞬間が共有されました。

●成果と効果

当日100名という満員の参加者数、幅広い年齢層の集まり、来場者から寄せられた多くの温かい感想・声により、目的は大きく達成されたと評価しています。特に、世代や立場を超えて「誰もが悩みもがきながら生きていること」「互いに理解しよう向き合うこと」「相手をそのまま受け入れること」の大切さを共有できた点は、本活動の大きな成果と考えます。

●来場者の声(抜粋)

「心が温かくなった」「自分も誰かにとっての理解者になりたいと思った」

「10代の自分でも共感できる内容で、参加してよかった」

「普段話せないテーマを自然に話せて、つながりを感じられた」

●総括・今後の展望

本上映会を通じて、多様性やマイノリティの視点に対する理解が深まり、地域の中で新たな対話とつながりが生まれつつあることを強く実感しました。

今後もこのような「心が動く場」を継続的に創出し、地域社会における包摂性と活力を高める活動を推進してまいります。

補助金のご支援をいただいたことで、多くの関係者や参加者の皆様と深い議論を交わし、知識をシェアする場を創ることができました。本当に感謝しております。このつながりが今後の活動の大きな力となっています。

注

- 1 本様式に書き切れない場合は、別紙(A4サイズ、様式自由)を作成し、添付してください。
- 2 ちらし、当日の資料等があれば添付してください。

添付書類

- 1 武蔵野市生涯学習事業費補助金事業決算書(第9号様式)
- 2 補助事業に係る領収書等
- 3 その他市長が必要と認める書類